

農薬残留分析の現状と展望

— 分析しなけりゃ始まらない —

- 開催日時：平成 26年 10月 29日（水） 13:00 ~ 17:30
- 開催場所：つくば国際会議場（エポカルつくば） 中ホール200
（つくば市竹園2-20-3）
- 主催：（独）農業環境技術研究所
- プログラム（予定）
 - HPLC-DADによる残留農薬分析の省溶媒化試料調製法
（独）農業環境技術研究所 渡邊 栄喜
 - QuEChERSオリジナル法と改良法（AOAC法・CEN法）
JAあいち経済連 永井 雄太郎
 - LC-MSを用いた農薬分析の実際
アジレント・テクノロジー(株) 滝埜 昌彦
 - コメ中の有機ヒ素及び無機ヒ素の分析
（独）農業環境技術研究所 馬場 浩司
 - 内部精度管理の実際 —残留農薬分析の現場から—
（一財）日本食品分析センター 水越 一史
 - イムノアッセイの最近の話題
—ELISAからイムノクロマト・SPRイムノセンサー—
（公財）京都高度技術研究所 三宅 司郎
 - FTIR-ATR法による残留農薬の簡易スクリーニング
—出荷流通前検査による農産物の安全・安心認証を目指して—
愛媛大学 山下 正純

■ 参加費： 無 料

■ 参加登録：（独）農業環境技術研究所 HP より

<http://www.niaes.affrc.go.jp/>

■ お問い合わせ： 〒305-8604 茨城県つくば市観音台3-1-3

（独）農業環境技術研究所 有機化学物質研究領域 大谷 卓
TEL: 029-838-8301; FAX: 029-838-8199; E-mail: otanit@affrc.go.jp